

## 平成30年度事業報告

### 1 新規事業報告

社会福祉法人英集会は、平成29年度に嘉百合園敷地南側に生活介護棟定員30名の新築を岐阜市に申請し開設許可を受けた。これを受けて平成30年5月に開設した。また同様に雛百合園の設立とA型事業所の申請を行い許可を受けた。

平成28年夏に開設した放課後等デイサービスのかゆりスクールも順調に利用者が増え契約者数も16名になった。

また、日中一時支援事業所のひめゆりケアルームも、施設見学者の増加や利用家族からの紹介によって利用人数が増加した。

その他、福百合園とゆりかご成育センターの運営は安定していた。

しかし、嘉百合園の生活介護棟の開設が1ヶ月遅れたため、生活介護の利用者が予定以上に少なかった。また就労継続支援B型から生活介護に移動した利用者がいた為、B型の利用者が少ない結果に終わった。

また、支出面においては、生活介護の定数30名に対しての人員配置により、人件費が多くなった。

今年度は、定員数に満たない事業所は利用者数を確保することと、経費の見直しを検討して、安定経営を目指していく。

### 2 事業報告

#### ① 嘉百合園

		平成30年度末
就労継続支援B型事業	定員40名	契約者数32名
就労移行支援事業	定員6名	〃 1名
生活介護事業	定員30名	〃 21名

平成30年度も嘉百合園は、地域に根ざした福祉施設を目標にした。具体的な目標は『原点回帰』とし、原点に戻って考える事とし、各部署の見直しを行った。また、平成30年度の就労継続B型事業は、欠席が続く利用者があったが、各職員の声掛けや家庭への訪問等を続けてきた結果、出席出来る様になった。

また、作業内容の見直しを行い、令和元年度は新しい内職を取り入れる事が決まった。平成30年度の就労移行支援事業は、就職できるようにプログラムを作成し対応した結果、A型へ移行する利用者が出た。また、令和元年度も1名の利用者が決定した。

生活介護事業の平成30年度は、たんぼぼ班10名とつくし班5名で5月にスタートした。活動内容、作業内容や入浴、送迎の改善方法等の検討に加

え、他の施設の見学等を重ねてより良い支援が出来る様に努めた。

嘉百合園は、平成29年に課題とした人員配置や業務改善を平成30年度も継続し、新たな支援内容や方法そして生活介護事業の活動内容の検討をしたが、まだ不十分な所が多かった。

### 行事

レクリエーション 買い物支援・地域参加・班活動などは、2ヶ月に1回のペースで実施し、また木琴と和太鼓は毎月実施した。

土曜登園では、クッキングを中心に月1回開催した。

主なもの	4月	入園式、お花見	11月	秋祭り
	5月	五月人形とかぶと		オンリーワン制作
	6月	軽スポーツ	12月	オンリーワン・クリスマス
	7月	七夕飾り 防災訓練		マス
	8月	買い物体験	1月	初詣
			2月	節分・防災訓練
			3月	ゲーム大会

## ② 雛百合園

			平成30年度末
就労継続支援B型事業	定員13名		契約者数12名
就労継続支援A型事業	定数10名		〃 2名

平成30年度のひなの郷は、従来のB型事業所に加えA型事業所が新設され、名称も雛百合園と改名し嘉百合園より独立した。

B型事業所は1名不足ですが、12名は毎日元気に仕事に励んでいます。A型事業所は2名ですが、今春2名の利用希望者がいました。

定例行事・・・音楽療法、絵画教室、リズム体操

主な行事	4月	お花見
	5月	母の日の手紙書き
	6月	喫茶実習
	7月	七夕飾り作り
	8月	調理実習
	9月	研修旅行、防災訓練
	10月	芋掘り
	11月	オンリーワン作品作り 岐北中福祉学習交流会
	12月	オンリーワン見学、合同クリスマス会

- 1月 書初め、初詣
- 2月 節分のお面作成、豆まき、お菓子作り（チョコレート）
- 3月 お菓子作り（クッキー）

### ③ ひめゆりケアルーム

平成30年度末

日中一時支援事業                      定員20名                      契約者数60名

平成30年度のひめゆりケアルームは、利用者の新規契約が前年度と比べ増えたことで安定した年であった。今まで利用できなかった医療度のある利用者も受け入れたり、それに伴い医療研修会等にも参加した。令和元年も続けて職員のスキルアップをしながら、新規利用者の獲得に努めていく。

- 主な行事
- 4月 夏の花、野菜の種まき・苗植え
  - 5月 こどもの日・母の日の作品
  - 7月 七夕の飾り・花や野菜の水やりや野菜の収穫
  - 8月 夏野菜の収穫
  - 9月 野菜で料理を作ろう（野菜サラダ）
  - 10月 ハロウィンの制作・春の花の球根植え
  - 11月 自然物を使った制作・球根の水植え
  - 12月 クリスマス飾りの制作・クリスマス会 正月飾りの制作
  - 1月 初詣
  - 2月 豆まき
  - 3月 ひなまつり飾り・水栽培とチューリップのお持ち帰り

いずれもケアルームに通いたいと感じられる施設にすることを職員の目標にする。

### ④-1 福百合園

平成30年度末

就労継続支援B型事業                      定員10名                      契約者数 9名

生活介護事業                                  定員16名                      " 21名

平成30年度は、10月に開設5周年を迎えることができ、安定した運営

ができた。

就労支援B型において、昨年度の事業計画として掲げた生産活動内容の見直しを実施し、従来のハンガー組立に加え、紙袋や車両部品の組立など委託作業の種類を増やしたことで、作業への飽きを軽減し、新しい作業を習得する喜びや熱意を提供できた。

今後は、自社製品である雑貨の製作や販売にも、利用者様自身がかかると関わっていただけるようなシステム作りや支援の方法を考えている。雑貨のクオリティをあげることで、より安定した売り上げを目指し、受託作業による収入増加とともに、工賃向上計画にも引き続き取り組んで行く。

また、気分の落ち込みによる欠席を減らす目的でも、社会見学や販売実習・調理実習など、実用的にも役立つレクリエーション部分を増やしていき、企画していく。

生活介護においては、定員の16名に対して契約者数が上回ってはいますが、曜日毎で他事業所とシェアしている利用者様も多く、ショートステイ利用などによる欠席も影響すると、1日平均利用者数は11名程度に止まっていた。内容的にはよい評判をいただいております、新規契約や利用日数の増加のご希望も多くいただいているため、欠席者数を含めた上での1日利用者数の確保のため、環境整備を続けていきます。1日平均利用者数の目標は13名です。また、重度心身障害を持たれた利用者様方が、より一層安心・安全・安楽にお過ごしいただけるような活動を提供できるよう、社員研修を進めている。

- 主な行事
- 4月 新人さん歓迎お花見会
  - 5月 春の運動会(生活介護)
  - 6月 社会見学(就労支援B型)
  - 7月 遠足(生活介護)
  - 8月 すいか割り大会
  - 9月 防災訓練(洪水・浸水)
  - 10月 健康診断、ハロウィン
  - 12月 クリスマス会  
オンリーワン舞台発表・展示見学
  - 1月 餅つき、新成人を祝う会
  - 2月 節分会、防災訓練(地震)
  - 3月 ひな祭り

月例行事 毎月：書を楽しもう！ 音楽を楽しもう！

調理実習(就労支援B型)：5月、8月、11月、2月  
おやつ作り(生活介護)：4月、7月、10月、1月

④ -2 ひだまり

就労継続支援B型事業      定員10名      平成30年度末  
契約者数 9名

平成30年度も英集会唯一の商業施設での作業所といった利点を生かした取り組みをしています。従来の商品配置を見直したり、品揃えをどうしたらよいかなどを職員間で考えて販売してきた。

そして、平成30年度もハンドベル活動でまとまりや向上心をさらに高め、ハンドベル演奏会を十六プラザで開催した。平成30年度から新規事業として始めた高齢者施設への訪問音楽活動は、先方施設様にも利用者さまにもとても好評をいただいています。メインにしていたハンドベルだけでなく、様々な手作り楽器やリズム体操、歌など、いろいろな形で音楽を楽しむことにも挑戦した。

作業においても、皆で助け合いながら協力することの大切さを学びながら作業を行い、更に個々のスキルアップを目指した。

また、作業の効率化を図り、工賃もアップに繋がる仕事を目標にする。

主な行事

4月	お楽しみ会(お花見)、調理実習(毎月)
5月	ひだまりの仲間たち総会、防災訓練
6月	研修旅行
8月	盆踊り、買い物支援
9月	施設訪問、合同誕生会
10月	自然体験、岐阜盲学校交流会、施設訪問、合同誕生会
11月	防災訓練 正眼短期大学祭参加(ハンドベル)、野菜収穫体験、岐阜グランドホテルお茶会参加(ハンドベル)
12月	岐阜市オンリーワン私たちの芸術祭舞台出演、施設訪問、クリスマス会
1月	初詣、お楽しみ会(チーム対抗ひだまり運動会)
2月	食事会、お買い物支援、お楽しみ会(チーム対抗ひだまり運動会)
3月	雛人形作り、合同誕生会

⑤ ゆりかご成育センター 障害児通所支援事業所

平成30年度末

児童発達支援	定員10名	契約者数17名
放課後等デイサービス	定員20名	〃 48名

児童発達支援は個別支援計画に基づき理学療法士や作業療法士等機能訓練が必要な利用者に対して特別支援計画を立て実施している。

放課後等デイサービスでも、個別支援計画に基づき言語聴覚士や臨床心理士が必要と思われる利用者に対して、特別支援計画を作成し、個別療育指導を週1～2回程度30年度も継続実施した。

このようにメディカルスタッフが、児童発達支援や放課後等デイサービスで活動することが未だ少ない為、今後も実施していく予定。

⑥ ゆりかご成育相談センター 特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所

障害者事業の中で、相談業務は大切です。平成30年度も障害者の要望を的確に対応しました。また、相談員として自らを磨きながら業務に取り組むことを目標にしてきた。

令和元年度も、利用者のサービスが適切であるように努める。

⑦ かゆりスクール 放課後等デイサービス

平成30年度末

放課後等デイサービス	定員10名	契約者数16名
------------	-------	---------

新規の利用者は継続した利用であったが、利用日数が減った利用者もあった。これについては、再度家族と学校との連携がいかに大切であるか実感した。利用が減ることがないように、施設内で情報を共有化する。利用者の成功体験を共有することで、信頼されて選ばれる事業所をこころがけていく。

## 主な行事

- 4月 お花見
- 5月 母の日に送るお手紙、花壇を作る
- 6月 調理実習・野菜作り、父の日に送るお手紙
- 7月 七夕飾り
- 8月 喫茶実習・スイカ割り大会
- 10月 芋掘り、外出の日（スポーツ大会）
- 12月 クリスマス会
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り（ひな人形の製作）